

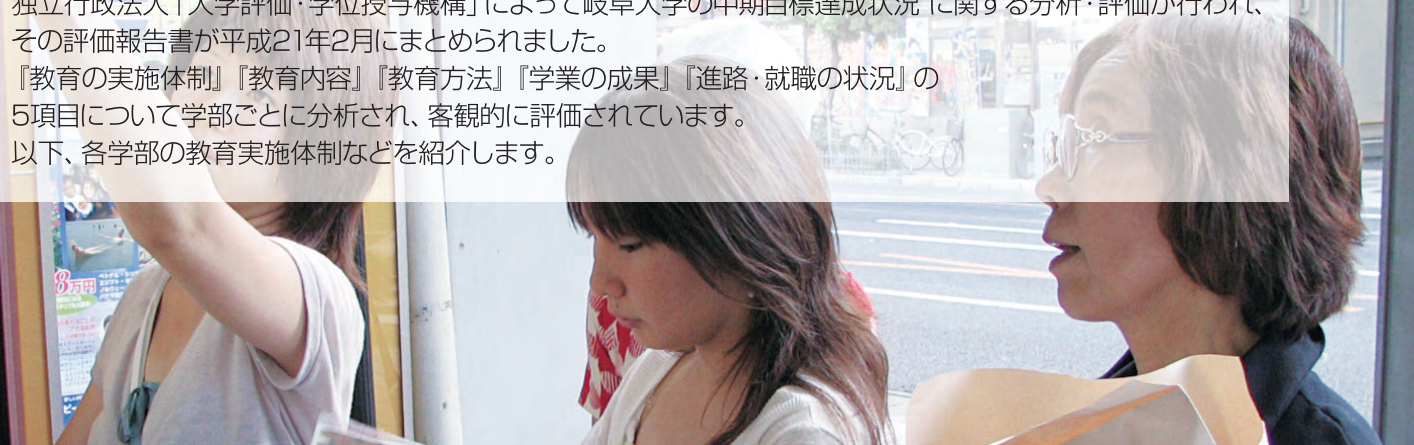
教育評価

外部評価機関による教育研究評価が、 岐阜大学の『期待に応える学び』を実証

独立行政法人「大学評価・学位授与機構」によって岐阜大学の中期目標達成状況に関する分析・評価が行われ、その評価報告書が平成21年2月にまとめられました。

『教育の実施体制』『教育内容』『教育方法』『学業の成果』『進路・就職の状況』の5項目について学部ごとに分析され、客観的に評価されています。

以下、各学部の教育実施体制などを紹介します。



独立行政法人大学評価・学位授与機構とは？

大学等の教育研究活動の状況についての評価等を行うことにより、その教育研究水準の向上を図るとともに、大学以外で行われる高等教育段階での様々な学習の成果を評価して学位の授与を行うことにより、多様な学習の成果が適切に評価される社会の実現を図り、もって我が国の高等教育の発展に資することを目的としています。

また、国立大学法人評価委員会の要請を受け、国立大学法人の中期目標期間における教育研究の状況について、専門的な観点からの評価を実施しています。

※独立行政法人大学評価・学位授与機構のホームページ (<http://www.niad.ac.jp>) 均抜粋



教育学部



地域教育界との密接な連携によって推進されている独自の「ACTプラン」が、教員としての実践能力形成という点で注目されています。

これまでの「教員養成は大学で行い、教員研修は教育委員会で行う」という原則を再考し、「大学と教育委員会が一体となって教員養成段階と教員研修段階の有機的な教育体制を整備し、教員の生涯にわたる多様な教育課題に対応できる資質の向上にあたる」という新しい原則のもとに教育を推進していることが特色です。特に、学部学生の教育実践能力の向上に重点を置いた ACTプラン (Active Collaboration Teaching Plan) を構想し、そのためのカリキュラム改革を進めてきました。このように、教育学部と地域教育界が密接に連携し、教員養成と教員研修を実施していることが本学部の大きな特徴です。

評価結果

- 教育の実施体制 : ○期待される水準を上回る
- 教育内容 : ○期待される水準を上回る
- 教育方法 : ○期待される水準にある
- 学業の成果 : ○期待される水準にある
- 進路・就職の状況 : ○期待される水準にある

分析内容の中で特筆すべき事項

- 教員としての実践能力を形成することを目的として、学校現場と大学との往復的な実践教育システムである ACT プランは、日本教育大学協会からも注目されています。
- ACTプランは、1年次の観察型教育実践体験「教職トライアル」、2年次の参加型教育実践体験「教職リサーチ」、3年次の従来型教職実習にあたる「教職プラクティス」、4年次の「教職インターン」と名づけた、教育学部と地域教育界の密接な連携による教員養成システムです。
- このシステムをより円滑に実施するために、校長経験者4名を擁する「ACT支援室」が各実習や講義の充実を図り、学生を支援しています。
- さらに、教員採用試験に対する支援については、教育現場に詳しい指導教員2名があたっています。
- 教育の質の向上度では、ACTプランを体験した卒業生に対するアンケート結果によれば、7割以上の卒業生が「子供を理解する力」「人とのコミュニケーション力」が向上したと肯定的に評価していました。
- 学生の多様なニーズに対して、他学部および他大学の授業履修を認め、単位として認定しています。

■他学部の授業履修では、地域科学部の「哲学A」「応用朝鮮韓国語Ⅱ」「文化基礎論」「プログラミング論Ⅱ・同演習」を延べ12名が履修しました。

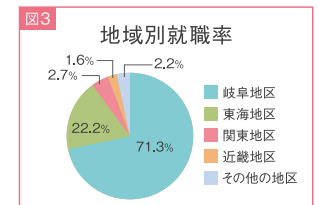
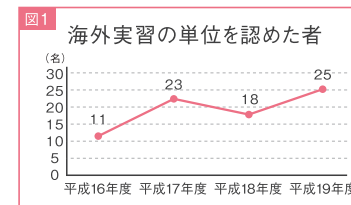
■海外語学研修においては、海外実習の単位認定者が平成19年度では25名となっています。[図1]

■地元教育委員会との連携推進については、岐阜市・高山市・美濃市などの教育委員会と連携協定を締結し、また、岐阜県教育委員会および各教育実習校と実習連絡協議会を設置するなど、評価・連携実施体制を整備しています。

■学生がパソコン上で授業評価を行い、教員にフィードバックするシステムを導入しており、授業改善への意識を高めています。

■資格取得者数については次の通りです。[図2]

■地域別就職率については次の通りです。[図3]



取得資格名	平成17年度 卒業生数 259名	平成18年度 卒業生数 252名	平成19年度 卒業生数 258名
幼稚園(1種・2種)免許状	73名	97名	73名
小学校(1種・2種)免許状	247名	241名	239名
中学校(1種・2種)免許状	254名	250名	239名
高等学校1種免許状	261名	227名	231名
養護学校(1種・2種)免許状	51名	61名	—
特別支援学校(1種・2種)免許状	—	—	52名
博物館学芸員	19名	25名	12名
認定心理士申請有資格者	14名	22名	17名

地域科学部



**国際的視野と専門性を併せ持ち、
社会が抱える複合的問題を解決に導く
人間性豊かな人材の育成に
期待が寄せられています。**

自然環境の中の社会、それとの調和のとれた人間文化・人間生活・行政・産業・福祉のあり方を探究し、現代社会における複合的問題を的確に把握して、その解決を展望できる人材を育成することを教育の基本目標としています。文科系分野を主とする学生は理科の知識を、理科系分野を主とする学生は文科の知識を持ち、社会で活躍するよう教育します。さらに、複数の外国語教育を重視し、これによって、とすれば英語圏だけに限定されがちな視野を広く世界のさまざまな地域に向ける教育も行い、人間性の豊かな、そして国際的視野と専門性を併せ持って行動することができる人材を育成しています。このように、岐阜大学のいずれの学部にもない文理融合型学部としての特色を生かし、地域科学部の三本柱である「地域政策」「地域文化」「地域環境」の諸領域における現実的課題追求型のカリキュラムが目的とされる教育を支えています。従来型の学部の専門教育では、特定の分野について深く探究する限定的な教育が行われてきました。しかし、逆にそのことが、現代社会において新たに発生している、複合的問題に十分な形でアプローチすることができないある種の閉塞感を生んでいると考えられます。本学部の教育は、そのような「壁」を打破することができる人材を育成するためのひとつの提案です。

評価結果

- 教育の実施体制 : ○ 期待される水準にある
- 教育内容 : ○ 期待される水準にある
- 教育方法 : ○ 期待される水準にある
- 学業の成果 : ○ 期待される水準にある
- 進路・就職の状況 : ○ 期待される水準にある

分析内容の中で特筆すべき事項

- 地域科学部の授業形態は講義・演習・実習・実験および各種セミナーで構成され、文理融合型学部としての特色を生かし、地域政策・地域文化・地域環境の諸領域における現実的課題探求型のカリキュラムを構築しています。
- 学習指導方法の工夫として、少人数の対話・討論型授業(教養セミナー・基礎セミナー・専門セミナー)やフィールド型授業(社会活動演習・地域学実習)を行い、4年一貫のセミナー体制を軸としています。
- 情報機器を利用した科目として「情報演習Ⅰ・Ⅱ」「情報基礎演習・情報応用演習」を実施しています。

- 地域学実習としてインターンシップを行った者には単位認定を行っています。主な受け入れ先は、名古屋市役所(平成16年)、浜松市役所(平成17年)、十六銀行および名鉄百貨店(平成18年)、岐阜銀行(平成19年)などです。

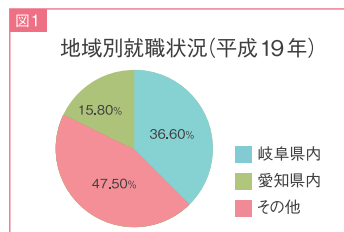
- 卒業後の進路状況については次の通りです。(平成19年就職率98.1%) [図1]

- 主な就職先への訪問調査ではおおむね良好な評価を得ており、就職先のニーズや期待に応え、能力や意識の水準も高いとする評価を得ています。

[主な就職先]

全農岐阜、岐阜厚生連、大垣共立銀行、西濃運輸、岡本・ナベヤ、セイノーコンピュータサービス、岐阜プラスチック、共立コンピュータサービス、カワボウ、イビデン、岐阜新聞、岐阜放送、東海労働金庫、高山グリーンホテル、十六銀行、岐阜グランドホテル、シンガポール、NTTドコモ東海など

- 平成18年度の学生満足度調査では、「研究室での教育研究指導について満足していますか?」の問いに対し、96%の学生が肯定的な評価でした。



医学部



**学生が主体的に学修に取り組む
テューリアル教育の導入により、
臨床・地域医療における
高い実践能力が養われています。**

研究・臨床で優れた成果を挙げている数多くの教員スタッフにより、医学教育・看護学教育が行われています。医学科の教育では、まず、全国に先駆け進められているテューリアル医学教育が特徴です。これは自学自習の問題解決型教育で、自ら問題点をとりあげ自ら解決するシステムです。さらに、臨床実習におけるクリニカル・クラークシップ、すなわち主治医の一員という立場で臨床実習するという極めて実践的な方法も特徴です。看護学科の教育では、医学科と同様にテューリアル教育を基盤とし、臨床・地域医療における看護職者の役割が今後ますます拡大・複雑化することを踏まえ、日々進歩する知識や技術を修得・発展させ、地域に即した保健医療活動の中心的役割を果たせる看護職の育成をめざしています。

評価結果

- 教育の実施体制 : ○ 期待される水準にある
- 教育内容 : ○ 期待される水準にある
- 教育方法 : ○ 期待される水準にある
- 学業の成果 : ○ 期待される水準にある
- 進路・就職の状況 : ○ 期待される水準にある

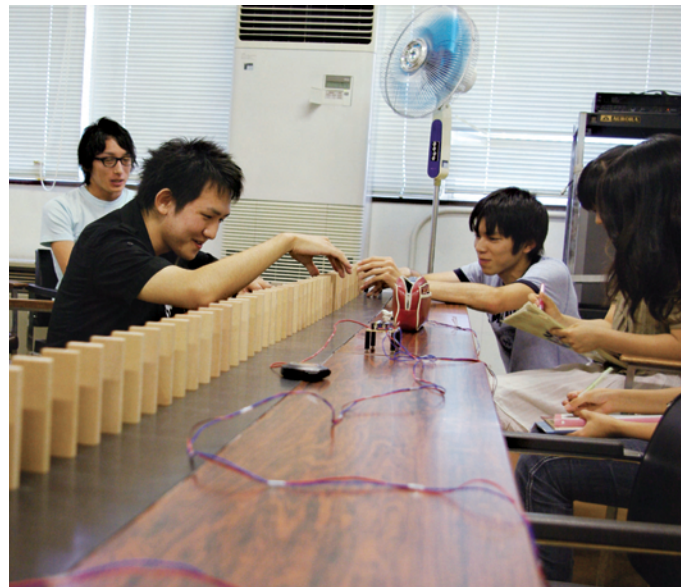
分析内容の中で特筆すべき事項

- 医学科は医師免許、看護学科は看護師・助産師・保健師免許を取得するために、充実した教授陣(医学科141人・看護学科41人)を確保しています。
- 新しい医学教育の開発と普及、医学教育に貢献できる人材養成、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を目的とした医学教育開発センターを有しており、医学科の自学自習の問題解決型教育(テューリアル教育)の充実を図っています。
- テューリアル教育は、医学科入学後、教養教育と並行してプレテューリアルが始まります。これには、医学を学ぶにあたってモチベーションを高めるための「医学概論」「初期体験実習」と、テューリアルコースを始めるために必要な「生命科学実習」「情報科学入門」「医学英語」「医用工学入門」などがあります。
- 2年次から機能別・臓器別・学問体系別に21のテューリアルコースが始まります。学生は、明確に定められた教育目標に向けて、自ら課題を解決する能力を養います。
- 各テューリアルコースには症例が示され、グループ討論や自学自習またはコース中に行われる講義や実習を通じて解決を試みます。
- グループ討論や自学自習時にはテューターと呼ばれる教員が学生指導を行います。
- このように講義・実習・グループ討論・自学自習制度を構築することで、学生の能動的学習を促し、医師として求められる能力の習得をめざしています。
- また、臨床実習においてもクリニカル・クラークシップ(学生が医療チームの一員として能動的に参加する仕組み)を採用しています。この臨床実習では、TOEFL550点以上を得た学生には海外での臨床実習も認めています。
- 看護学科においてもテューリアル教育を採用し、高い看護実践能力の修得に役立っています。
- また、臨床・地域医療で遭遇する割合が高い事例を選択し、演習では看護技術・指導技術などを取り入れた教育内容に工夫を施しています。
- 国家試験合格状況については右図の通りです。[図1]

図1

卒業生及び 取得資格名	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	医学科	看護学科	医学科	看護学科	医学科	看護学科
卒業生	75名	76名	74名	71名	80名	74名
医師免許	75名	—	73名	—	78名	—
看護師免許	—	75名	—	71名	—	73名
保健師免許	—	70名	—	71名	—	72名
助産師免許	—	5名	—	5名	—	5名

工学部



深い見識と優れた感性、健全な心を持つ人間性豊かな技術者を育てるために、学生をはじめ関係者からの意見を改善につなげる体制が整備されています。

工学部の学士課程における教育の目的は、「創造力および発想力」「ボランティア精神」「自然との共生を基盤とした豊かな人間性」「課題に対して主体的かつ継続的に取り組むことのできる能力」「プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力」などを養い、社会・自然・文化などに深い見識、優れた感性、健全な心を持たせるとともに、個性に応じた多様な能力を持った、人間性豊かな技術者を育てることにあります。この目的を達成するために、「多様で調和のとれた教育体系の整備」「自主的で創造的な勉学を促進する学修環境の整備」「実験を伴う講義の推進」「教員と学生との信頼に基づいた双方向教育の推進」「ITを活用した教育の推進」「ティーチングアシスタント制度の拡大と有効な活用」「学生の授業評価の積極的活用」「ファカルティ・ディベロップメント活動」などを推進している点に特徴があります。

評価結果

- 教育の実施体制 : ○ 期待される水準にある
- 教育内容 : ○ 期待される水準にある
- 教育方法 : ○ 期待される水準にある
- 学業の成果 : ○ 期待される水準にある
- 進路・就職の状況 : ○ 期待される水準にある

分析内容の中で特筆すべき事項

- 教育目標を達成するために改善に向けた体制を整備するとともに、アンケート・聞き取り調査・外部評価および後援会(保護者会)総会・保護者懇談会などの形で、学生とその家族、卒業生と就職先企業、さらには外部有識者や高等学校進路指導担当者などから意見を聴取しています。
- その結果は学科長会議・教務委員会などで議論し、自己採点・評価に反映しています。また、学科ごとに外部評価を順次行い、その結果を報告書にまとめて広く構成員に周知し、改善につなげています。
- 他学部の授業科目の履修、他大学との単位互換、編入学への配慮、博士前期課程教育との連携などを図ることにより、学生の多様なニーズ、学術の発展動向、社会からの要請などに対応した教育課程を編成しています。
- 1年次から「フレッシューズセミナー」「現代テクノロジーの展開」「技術と技術者の倫理」などの教育を行い、専門教育への導入に工夫を施しています。
- 学生に対する各種ガイダンスを行い、組織的に学習指導を行い、学生の主体的な学習意欲の喚起、学習時間の確保および学習環境の整備に努めています。
- 学生の進学・就職率については右図の通りです。[図1]
- 学生の意見を取り入れる仕組みとして多様なアンケートを実施し、その結果を各教員にフィードバックするとともに、個別の授業に対する評価は担当教員に通知しています。
- 学期末に行う授業評価アンケートのほか、卒業時に行うアンケート、卒業後10年目に行うアンケートを実施し、その結果を踏まえて各種改善に取り組んでおり、例えば、平成19年度には卒業生の7割以上が大学生活において「満足」または「ほぼ満足」と答えています。
- 「技術と技術者倫理」という講義を開講するにあたっては、日本技術士会のメンバーの意見を取り入れるなど、教育の充実に向けて議論しています。

図1

学生の進学・就職率

卒業年度	卒業者数	進学率	就職率	就職職種		
				技術職	事務職	その他
平成17年度	465名	56.8%	37.6%	163名	12名	0名
平成18年度	461名	54%	42.5%	152名	9名	35名
平成19年度	489名	47.9%	45.8%	182名	15名	27名

応用生物科学部



農学を基礎とした生物学について、社会の期待や要請に機敏に対応した教育・研究を行うことで、食・健康・環境の向上を旨としています。

応用生物科学部は、従来培われた農学を基礎とした生物学で積極的に社会貢献することを目標として設立された学部であり、国際的な変化に伴って変容する社会の教育ニーズに的確に対応することをめざしています。そのために、教育組織と教員組織の分離を行い、教員の研究分野にとらわれることなく、国際社会の中で大きな注目を浴び始めている、国内の課題である食の安全と安定および食を基盤とした健康の増進や環境の保全、公衆衛生の向上などに関し、教育内容を適宜改編しながら的確な教育を行うことを可能にしています。このように、農学を基礎とした生物学について、人類の生存・生活に積極的に貢献することを目的とし、社会の期待や要請に機敏に対応した教育・研究を行うことが本学部の特徴です。

評価結果

- 教育の実施体制 : ○ 期待される水準を上回る
- 教育内容 : ○ 期待される水準にある
- 教育方法 : ○ 期待される水準を上回る
- 学業の成果 : ○ 期待される水準を上回る
- 進路・就職の状況 : ○ 期待される水準にある

分析内容の中で特筆すべき事項

- 専門高校からの推薦入学者を対象としたリメディアル教育(補習教育)を実施しています。
- 高等学校教職免許の取得も可能で、教育学部で開講される教職科目の単位認定も行っています。
- フィールド型授業や情報機器を利用した授業、さらには少人数授業にも取り組み、実験・実習では積極的に大学院修士課程の院生(TA:ティーチングアシスタント)をもって個別指導を行っています。
- 講義・演習・実験・実習をバランスよく組み合わせた教育体系によって、学生の単位修得率は約95%以上と高く、「優」の取得率は食品生命科学課程および生産環境科学課程で60%、獣医学課程で70%以上となっています。
- また、学生自身が設定した学習達成度目標を「達成できた」と「ほぼ達成できた」を合わせると76.9%となっています。
- 取得した資格については右図の通りです。[図1][図2]
- 平成19年度卒業生の進路状況については右図の通りです。[図3]
- 平成18年度の卒業時アンケートでは、「希望する進路先に進めた(『強く思う』と『思う』の合計)」が71.3%と満足度の高い結果となっています。
- 平成19年度求人件数については右図の通りです。[図4]

図1

食品生命科学課程および生産環境科学課程

卒業年度	卒業者数	資格名および取得者数	
		資格名	取得者数
平成17年度	154名	高等学校1種免許状(農業)	14名
		高等学校1種免許状(理科)	23名
平成18年度	139名	高等学校1種免許状(農業)	9名
		高等学校1種免許状(理科)	8名
平成19年度	154名	高等学校1種免許状(農業)	12名
		高等学校1種免許状(理科)	4名

図2

獣医学課程

卒業年度	卒業者数	資格名および取得者数
平成17年度	25名	獣医師免許 25名
平成18年度	22名	獣医師免許 20名
平成19年度	23名	獣医師免許 21名

図3

平成19年度卒業生の進路状況

卒業年度	卒業者数	進学者数	就職者数	職種		
				研究職	技術職	事務職
食品生命科学課程	156名	76名	74名	5名	49名	20名
生産環境科学課程						
獣医学課程	23名	6名	15名	1名	14名	0名

図4

平成19年度求人件数

